

---

# 東海学院大学大学院の教育方針

## (平成 28・27 年度入学者対象)

---

### 人間関係学研究科 臨床心理学専攻の教育方針

---

高度情報化、少子高齢化、グローバル化という現代社会の大きな流れを背景として、私たちを取り巻く地域社会ならびに家族・学校・企業などの人間関係の中で、子育て不安や児童虐待、不登校や家庭内暴力、青年期の引きこもり、中年期の抑うつや老年期の自殺など、様々な心の問題が生じつつあります。こうした心の問題を研究する臨床心理学に対する社会的要請はますます高まっており、臨床心理学の理論的実践的な高度の能力を持つと共に、豊かな人間性を備えた人材の養成が望まれています。

本学の人間関係学研究科臨床心理学専攻は、臨床心理士養成第1種指定大学院として、臨床心理学的なアセスメント、心理面接、地域援助の理論と技法を修得し、さらに科学的思考と臨床的な態度とを身につけ、医療・教育・産業・福祉・司法などのさまざまな領域で、適切な援助、介入及び研究のできる臨床心理の専門家を養成することを目的とします。

以上の目的を達成するため、臨床心理学の中心的領域である、臨床心理学特論、臨床心理面接特論、臨床心理査定演習、臨床心理基礎実習、臨床心理実習を開講すると共に、心理学研究法特論、学習心理学特論、社会心理学特論などの基礎的科目群、精神医学特論、投影法特論、学校臨床心理学特論などの専門領域の科目群が開講されます。さらに、基礎科目として Developing Critical Thinking Skills 等3科目が配置されています。

臨床心理学の実習関係については、大学院附属の心理臨床センターにおいて臨床心理士である担当教員のスーパービジョンのもとでケースを担当することを通して、また学外実習によって、学校臨床、病院臨床、福祉臨床の各方面の実践的な訓練を受けることとなります。

以上のようなカリキュラムを通して、児童から成人のこころのケアを行うことのできる人材、家庭、学校、企業、福祉、医療関係の広範囲な心理臨床領域での実践を行っていける人材、すなわち臨床心理学領域の高度専門職業人の養成を目指します

### カリキュラム・ポリシー（教育課程編成に関する方針）

---

本学の大学院は、学是にある「ひとつづくり」の理念に基づき、学術の理論及び応用を教授するとともに、高度の専門性を要する職業等に必要な能力を養い、社会・文化の進展に寄与することを目的としています。また、教育研究上の目的は、心の問題に取り組み、解決に努めると共に、予防活動を展開できる人材を養成し、地域社会に貢献することです。そのため臨床心理学領域の専門的知識と技量、及び豊かな人間性を有する人材を育成していきます。

### ディプロマ・ポリシー（卒業認定、学位授与に関する方針）

---

本学大学院では、修士課程を修了するためには、2年以上在学して30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査及び試験に合格した者を課程の修了者とし、修士の

学位を授与します。ただし、在学期間に関しては、優れた業績を上げた者については、1年以上在学すれば足りるものとしています。